



平成24年11月23日 市役所2階大集会室

編集/かほく市議会広報特別委員会

発行/石川県かほく市議会

〒110-8501 石川県かほく市宇野気二81番地

E-mail: gikai@city.kahoku.ishikawa.jp
076(283)7126 FAX076(283)7188

パブリックコメントの募集

かほく市議会基本条例(案)へのご意見をお寄せください

かほく市議会では、議会の最高規範となる議会基本条例の制定を目指しています。議会基本条例とは、市議会運営のあり方や、その基本原則を定めた条例です。市民と議会、議会と行政の関係、また議会や議員の責務などを規定するものです。

募集期間

平成25年2月1日(金)～2月15日(金)

条例(案)の閲覧場所

- ・市役所正面受付
- ・市議会事務局(市役所隣り、市議会庁舎2階)
- ・七塚・高松サービスセンター
- ・大海交流センター
- ・中央図書館

市ホームページ(議会ページ)でも閲覧できます。

意見などを提出できる方

市内在住・在勤・在学の方、市内に事業所などを有する方、その他利害関係者

意見の提出方法

各サービスセンターなどに備え付けの意見提出用紙に、ご意見や必要事項をご記入のうえ、各サービスセンターに提出するか、議会事務局まで郵便、ファックス、電子メール、または持参のいずれかの方法で提出してください。

匿名や、電話でのご意見はお受けしませんのでご了承ください。

問い合わせ・応募先

かほく市議会事務局 〒929-1195 石川県かほく市宇野気二81番地
TEL:076-283-7126, FAX:076-283-7188
E-mail:gikai@city.kahoku.ishikawa.jp



【ご意見の取扱い】

- ・お寄せ頂いたご意見は、議会運営委員会などで検討し、かほく市議会基本条例の成案策定の参考とさせていただきます。
- ・ご意見の概要とそれに対するかほく市議会の考え方は、後日ホームページや議会だよりで公表します。個別の回答は行いませんのでご了承ください。
- ・頂いたご意見について、確認のため連絡させていただく場合があります。提出の際は、必ず住所・氏名・電話番号などの必要事項を明記下さい。意見提出者の氏名そのほか、個人情報は本目的以外には使用せず、公表もいたしません。

議会だよりは、国会図書館にも送付されています。

印刷コスト 1部 26円(発行部数 11,500部)

CONTENTS

平成24年 第4回 定例会	2
一般質問(5人が登壇)	6
常任委員会レポート	11
議会活動報告	14
第1回議会報告会	15

議会基本条例(案)についてパブリックコメントを募集 16

出生増に伴う
赤ちゃん応援事業費など
補正予算可決

平成24年 第4回 定例会

会期 / 12月4日 ~ 12月19日

平成24年度一般会計補正予算など22議案について審議し、原案の通り可決した。また最終日に追加議案1件が提出され、原案の通り可決した。人権擁護委員の諮問案件1件についても原案の通り適任とした。



小・中学校 非構造部材補強計画費計上

24年度一般会計補正予算 (第5号)

河北台中学校軟式野球部 全国大会出場費計上

歳入歳出、それぞれ1億1千663万円を増額するもの。

歳入の主な内容

526万円を増額

繰越金

前年度繰越金4千348万円を増額

諸収入

防犯灯設置等協力金167万円、デジタル混信対策補償金200万円、後期高齢者医療広域連合過年度精算金1千275万円、その他145万円を増額。

市債(借入金)

老人福祉施設整備事業債330万円、都市公園整備事業債230万円、高松体育センター耐震整備事業債180万円、宇ノ気体育センター耐震整備事業債180万円、道の駅整備事業債800万円を増額

災害対策事業一般会計出資債4千360万円、公民館耐震補強等整備事業債360万円を減額

繰入金

介護保険特別会計繰入金

県支出金(県から)

障害者自立支援給付費負担金1千755万円、地域環境保全対策費等補助金547万円、その他91万円を増額

障害者自立支援特別対策事業補助金377万円を減額

介護保険特別会計繰入金

歳出の主な内容

総務費

定住促進奨励金500万円、住まい応援奨励金100万円、ケーブルテレビ事業310万円、防犯灯修繕事業890万円、かほく市議会議員選挙費296万円、その他80万円を増額

民生費

災害時要援護者対策システム導入関係費509万円

障害者自立支援給付費6千530万円、高松、宇ノ気老人福祉センター耐震診断・補強計画設計監理委託料350万円、出生増に伴う祝品支給費及びチャイルドシート購入補助金135万円、宇ノ気中央統合保育園建設調査委託料100万円、生活保護扶助事業2千500万円、その他163万円を増額

衛生費

子ども医療費助成事業720万円、不妊不育治療費助成事業427万円、廃棄物収集運搬処理委託料548万円、太陽光発電システム設置補助金225万円を増額

農林水産業費

上水道事業出資金4千360万円を減額

黒川地区用水路改修工事150万円、松くい虫防除・駆除事業161万円を増額

土木費

土地改良施設維持管理事業など286万円を減額

商工費

道の駅高松測量設計委託料850万円を増額

高松運動公園多目的競技場周辺整備測量設計委託料250万円を増額

下水道事業特別会計繰入金112万円を減額

教育費

非構造部材点検調査・補強計画策定業務小学校分410万円・中学校分241万円、河北台中学校軟式野球部全国大会出場による補助金142万円、高松、宇ノ気体育センター耐震補強・大規模改修実施設計委託料467万円、その他179万円を増額

公民館管理運営事業467万円を減額

職員人件費

345万円を減額(賛成16、反対1)

人体育センター耐震補強・大規模改修実施設計委託料467万円、その他179万円を増額

特別会計

ケーブルテレビ事業特別会計補正予算 (第1号)

機器などの老朽化に伴う不具合を修繕するための費用などについて追加補正するもの。

介護保険特別会計補正予算 (第1号)

過年度事業費の精算、人事院勧告に伴う給与制度改正及び人事異動などによる職員人件費の補正を行うもの。

下水道事業特別会計補正予算 (第3号)

人事院勧告に伴う給与制度改正及び人事異動などによる職員人件費の補正を行うもの。(以上3件、全員賛成)

事業会計

水道事業会計補正予算 (第1号)

踏切部分の工事について、ジェイアール西日本の事業計画の都合により、今年度と来年度の事業費の割合を変更する必要が生じたため、今年度の不用額を減額するとともに、来年度の所要額について債務負担行為の増額補正を行うもの。(全員賛成)

条例制定

指定地域密着型サービス

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防の効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定

移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定

準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定

市営住宅等の整備基準を定める条例の制定

水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定

地域主権一括法の施行により、これまで上位法や関

専決処分

一般会計補正予算 (第4号)

衆議院議員総選挙費の執行経費に係るもの。(全員賛成)

追加議案

一般会計補正予算 (第6号)

担い手育成基盤整備事業・県営事業負担金(上田名余地)1千500万円、通学路安全対策工事費1千500万円、大谷橋・箕打橋補修



通学路の安全対策で取り組むカラー塗装

歩行者保護対策

路側帯を確保し、通行車両に色で周知して歩行者の安全対策を図ったもの

神奈川県横浜市緑区

質疑・討論

第4回定例会において提出された議案・発議に対し、5議員が賛成、反対の討論を行なった。

一般会計補正予算及び一般職の職員の給与に関する条例改正 議会政務調査費（政務活動費に名称変更）の交付に関する条例改正 に対して

反対討論
補正予算・給与引き下げ条例の2件に反対
高橋成典議員
給与通告は月例給与ポータルと共に民間との均衡が図られているとして改定なしである。
ただし、昇格昇給制度を見直し、55歳を超える職員は平成25年1月以降昇給を停止するものである。
国民所得は20年前の水準に落ち込み、勤労世帯の年収はピーク時から平均100万円も減っている。国民の所得が減り続け経済成長も止まる。このような国は先進国の中でも日本だけである。
官民格差があるとして、納得できる合理的な説明もないまま、公務員と民間を対立させ、賃下げ競争を押し付けるやり方は、国民全体に対する賃下げ競争を強め、内需を冷え込ませ貧困と格差の拡大をさらに広げるものである。

賛成討論
いずれも必要な予算であり、全て賛成する
金田正信議員
今定例会に提出された議案は、専決処分を含む各会計の補正予算の議案6件、条例関係議案16件、諮問案件1件である。説明では、衆議院議員総選挙の執行経費に係る専決補正と、12月補正の中で、市の施策として継続的に取り組むものを計画に基づき補正することである。
主なものとして「定住促進」「子育て支援」では、本年度の実績見込みに基づき増額補正し、また「公共施設の整備」「生活者への支援」などがあり、これらの補正予算はいずれも市の今後の活性化を踏まえた、住みよいまちづくりを進めるためには必要不可欠な事務事業である。議会として異議なく賛成すべき内容である。
条例関係全てについても賛成するものである。

反対討論
議会政務活動費の交付に関する条例に反対
高橋成典議員
「調査研究」に限定していた使途を、「その他の活動」にも広げ、具体的には選挙陳情、その他、住民福祉の増進を図るためとしての改正としているが、政務調査費の使用に関してはオンブズマンをはじめ、各方面から批判の声が上がっている。
全国では住民監査請求は84件9億円を超え、住民訴訟は70件を超え、その内47件の支出が違法とされた。議員や会派の研究費に關係のない使い方に対して国民の厳しい指摘が続いている。
法律改正によって「その他の活動」にも使途を広げることに対して、住民の理解と納得は得られるものではないとして、共産党は国会で、この法律改正に反対。今回の条例改正は、その経過で、その内容からも市民の理解と合意が得られるものではない。

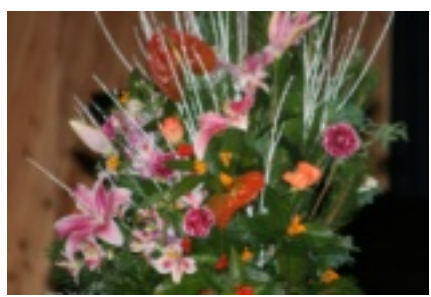
賛成討論
交付の範囲は、我々議会で決めるもの
安達肇議員
今回の条例改正は、地方自治法の改正【交付目的を「議員の調査研究その他の活動に資するため」に改め、その範囲を条例で定めることとする】に伴うものである。つまり、地域主権の観点から交付範囲を我々議会が自ら決めるものであり、特定政党の国会での主張を持ち出すべきではない。
また、本条例の策定段階で、全議員による協議を行い、交付範囲を「調査研究、研修、広報、公聴、住民相談、要請、陳情、各種会議への参加など市政に反映させる活動、住民福祉の増進をはかるために必要な活動」としたものであり、極めて妥当な内容である。そのとき、高橋議員は反対していない。策定に際しては、提出された条例改正に反対することは理解できない。

賛成討論
議員・市民双方に効果のある改正であり賛成
猪村博靖議員
かほく市では、平成17年下期より制度を設けて支給を受けてきた。その使途については、中央から専門家を招聘して勉強会を開き、当初から一円単位の領収書添付を義務付けるなど、透明性を重視してきた。加えて、時の議長や事務局が監査委員の提言も取り入れて厳しくチェックしており、トラブルは全く無い。
この制度を利用して、先にと勉強し、行財政改革や議会改革に繋がった実績も多数有り、効果は顕著である。
今回の条例改正は使途範囲を要請、陳情、住民相談などに拡大するもので、誠に意義あるものである。議員各自が自覚を持って行動すれば、何ら問題は無い。

条例改正
都市公園条例の改正
上位法で定められていた都市公園の設置基準や公園施設を設置基準などを定めるもの。
公共下水道条例の改正
上位法で定められていた公共下水道施設の構造基準や終末処理場の維持管理の方法を定めるもの。
市営住宅条例の改正
上位法で定められていた公営住宅入居時の資格要件などを定めるもの。
水道事業の設置等に関する条例の改正
上位法で定められていた水道事業において、毎事業年度に生じた資本剰余金の処分方法などを定めるもの。
暴力団排除条例の改正
暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律の一部改正に伴い、当該条例中、市の責務を定めるために引用されている法律の条項番号を変更するなど、所要の改正を行うもの。
税条例の改正
上位法の改正により、行政手続条例の適用除外となっていた地方税に関する処分について、納税者の権利保護の観点から、行政手続法の規定に基づき処分理由を提示することとされたことを踏まえ、所要の改正を行うもの。
ひとり親家庭等医療費給付に関する条例の改正
上位法の改正により、石

川県ひとり親家庭等医療費助成事業補助金交付要綱が改正されたことにより、「ひとり親家庭」の定義に新たに父又は母が配偶者からの暴力の被害によって保護命令を受けた児童を追加するなど、所要の改正を行うもの。
子ども医療給付に関する条例の改正
上位法の改正により、医療費の給付対象となる者から、市中心部医療費の助成に関する条例の適用を受ける者をはじめ、他の助成事業の適用を受ける者を給付対象から除外するなど、所要の改正を行うもの。
（以上8件、全員賛成）
一般職の職員の給与に関する条例の改正
本年度の人事院勧告に基づき改正するものであり、主なものとして、官民の給与差を考慮して、50歳台後半層の給与水準の上昇を抑制するため、平成25年4月1日現在で、55歳を超える職員について、平成25年1月1日以降、昇給を停止するなど、所要の改正を行うもの。

諮問
（賛成16・反対1）
人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
松本秋景氏（上田名）（全員賛成）



請願・陳情
（賛成14・反対3）
【採択】
公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める請願
市議会政務調査費の交付に関する条例の改正
政務調査費という名称を「政務活動費」に改め、また、経費の範囲を定めるもの。
議長は政務活動費について、その使途の透明性の確保に努めることと定められていることなどから、名称などを含め条例の全部改正を行い、この条例を新たに制定するもの。
市議会委員会条例の改正
委員の選任方法、在任期間などについて、法律で定めていた事項を条例で定めるもの。
市議会会議規則の改正
市議会会議規則に公聴会開催の手続などについて、必要な条項を加えるもの。
「発言の要求」に関し発言の通告制を廃止し、筆手などにより議長の許可を得て発言できるように改正するもの。

意見書
公的年金2・5%引き下げに反対する意見書
厚生労働省は、「特例水準」を解消するとして、3年間で2・5%の年金引き下げを行なおうとしています。当時、政府は高齢者の生活実態と、経済への悪影響を考慮して、年金額を据え置いたものであり、適切な措置であったと思います。しかるに、高齢者を取り巻く状況は当時と比較しても、ますます厳しさを増しているにもかかわらず、「特例水準解消、2・5%削減」を強行することは、高齢者の生活を守る立場からも、地域経済を活性化する立場からも認めることはできません。
提出議員 寺内 照雄
賛成議員 金田 正信
多々見邦次
（賛成14・反対3）

質問5 Q & A

市でも外部監査を導入せよ

今のところ考えていない



質問1 Q & A

TPP交渉参加に反対すべきと思うがどうか

現段階では慎重に判断すべきと考える

質問3 Q & A

あったか雑炊・鍋まつりを工夫せよ

今年はラリーポイントを取り入れる



質問1 Q & A

紋平柿全滅被害に補償の考えはあるか

生産者の収益減少を補填する独自の施策はない

質問1 かほく市の特産品として、ぶどう、紋平柿、かほくくり、大崎スイカ、長いも、大根の6品目をブランド化として促進している。しかし、路地物は気候に左右されがちであり、今年の紋平柿は、収穫を前にしてあられが降り全滅に近い状態になった。このような状態の生産農家を救う手立ては無いのか。A 油野市長 生産者の収益減少を補填する独自の施策は講じてないが、あられ被害を防止する設備面での栽培方法と、これに合わせた支援枠組みを、生産者の方々と十分協議を行い、国・県の支援制度や、市の農産物ブランド化推進事業制度と合わせて検討し、激化する産地間競争に負けない農産物と強い経営体の確立を目指していく。

質問2 特産品目を栽培している農家の戸数や、後継ぎが育っているのかが心配である。A 大西産業建設部長 プラント6品目農家の戸数は、スイカ6戸、大根6戸、かほくり4戸、長いも22戸、ぶどう60戸、紋平柿78戸である。また、後継者については明確な数字はつかんでいない。

質問3 「あったか雑炊・鍋まつり」がもうすぐ始まるうとしているが、このイベントが最近マンネリ化しているように感じてならない。「居酒屋グランプリ」を開催して、まち起しを図っている市もあり、かほく市でも新しい取り組みを考えてはどうか。A 市長 旧高松町で平成11年度から11店舗の飲食店の協力で始まったものであり、市になってから「かほく四季まつり」の冬のまつりとしてこのイベントを引継ぎ、1月に行う冬まつりで14回目を迎える。平成19年度からイベントの内容を充実し、多くの飲食店の参加が頂けるよう、雑炊に加え冬の温まる料理として鍋料理も盛り込んで実施している。店舗数も25店舗の協賛により、「雑炊」27品目、「鍋」13品目と増えている。3店舗以上の利用でのラリーポイントで景品がもらえるというイベントの追加も検討している。



あられ被害で商品にならなかった紋平柿 (写真提供: 越野さん)

質問1 TPP交渉参加に反対すべきと思うが、市長の見解を問う。A 油野市長 TPPへの参加にあたっては農業関係に限らず、産業分野全般を視野に入れて検討することも必要であり、現段階では慎重な判断にならざるを得ない。

質問4 嘱託職員の労働条件を改善せよ。A 市長 私は一言も賃金が低い方がいいと言ったことはない。A 板坂総務部長 市の嘱託職員の賃金は県内11市の中でもトップレベルである。県内自治体の動向を踏まえながら常に見直しを検討していく。

質問5 外部監査制度の導入を図ること。A 市長 現在、市の監査は、地方自治法の規定により「識見を有する者」、「市議会議員」の計2名を任命し、市の出納事務や財務事務などを監査している。極めて優秀な方を任命しており、職責を十分に果たしている。現在のところ、外部監査の導入は考えていない。

外部監査とは 自治体の財務など、毎年度テーマを選んで外部監査人が監査を行う。外部監査人の資格者は弁護士、公認会計士、税理士。自治体から独立した外部監査人が監査することで、チェック機能を高め、行政の適正な運営を確保するのが目的。

質問2 聴覚障害者の補聴器への市独自の補助制度を実施すること。A 森田市民部長 現段階では市単独での助成は考えていない。障害のある方の自立と社会参加促進のための支援を総合的に行っていくため、障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス内容の周知を図り、利用の促進に努める。



視覚障害者に対応した地デジ対応ラジオ

質問3 視覚障害者が地デジ対応ラジオを取得できるように市でも給付を行うこと。

質問5 Q&A

政策研究所設置の考えはあるか

今のところ考えていない



質問1 Q&A

ジェネリック普及セミナー開催の考えはあるか

生涯学習フェスティバルなどを検討

ジェネリック医薬品の利用がさらに高まる事によって、市の負担額が抑制されることになれば、財政的にも、歓迎すべきことであり期待している。

ジェネリック医薬品の利用がさらに高まる事によって、市の負担額が抑制されることになれば、財政的にも、歓迎すべきことであり期待している。

ジェネリック医薬品の利用がさらに高まる事によって、市の負担額が抑制されることになれば、財政的にも、歓迎すべきことであり期待している。

ジェネリック医薬品の利用がさらに高まる事によって、市の負担額が抑制されることになれば、財政的にも、歓迎すべきことであり期待している。

ジェネリック医薬品の利用がさらに高まる事によって、市の負担額が抑制されることになれば、財政的にも、歓迎すべきことであり期待している。

ジェネリック医薬品の利用がさらに高まる事によって、市の負担額が抑制されることになれば、財政的にも、歓迎すべきことであり期待している。

ジェネリック医薬品の利用がさらに高まる事によって、市の負担額が抑制されることになれば、財政的にも、歓迎すべきことであり期待している。

ジェネリック医薬品の利用がさらに高まる事によって、市の負担額が抑制されることになれば、財政的にも、歓迎すべきことであり期待している。



ジェネリック医薬品 希望カード

ジェネリック医薬品の利用がさらに高まる事によって、市の負担額が抑制されることになれば、財政的にも、歓迎すべきことであり期待している。

ジェネリック医薬品の利用がさらに高まる事によって、市の負担額が抑制されることになれば、財政的にも、歓迎すべきことであり期待している。

ジェネリック医薬品の利用がさらに高まる事によって、市の負担額が抑制されることになれば、財政的にも、歓迎すべきことであり期待している。

ジェネリック医薬品の利用がさらに高まる事によって、市の負担額が抑制されることになれば、財政的にも、歓迎すべきことであり期待している。

質問2 Q&A

統合施設の解体後の跡地利用は、どうするのか

有効な利用計画を考えていく



質問1 Q&A

定住促進策の今後の方向性を問う

できるだけ継続していく

「若者マイホーム取得奨励金事業」の実績は11月末現在の累計が230件であり、そのうち89件が市外からの転入の方で、そのうち市内建築業者の活用が47件である。

「若者マイホーム取得奨励金事業」の実績は11月末現在の累計が230件であり、そのうち89件が市外からの転入の方で、そのうち市内建築業者の活用が47件である。

「若者マイホーム取得奨励金事業」の実績は11月末現在の累計が230件であり、そのうち89件が市外からの転入の方で、そのうち市内建築業者の活用が47件である。

「若者マイホーム取得奨励金事業」の実績は11月末現在の累計が230件であり、そのうち89件が市外からの転入の方で、そのうち市内建築業者の活用が47件である。



老朽化し、雨漏りがひどい七塚庁舎

老朽化し、雨漏りがひどい七塚庁舎。高松女性センターも含めて計画的に整理していくこととし、平成25年度当初予算に設計費を計上し、工事費の財源など財政状況や諸般の事情を考慮しながら、平成26年度以降、財政負担も考慮しながら順次進めていく。

老朽化し、雨漏りがひどい七塚庁舎。高松女性センターも含めて計画的に整理していくこととし、平成25年度当初予算に設計費を計上し、工事費の財源など財政状況や諸般の事情を考慮しながら、平成26年度以降、財政負担も考慮しながら順次進めていく。

老朽化し、雨漏りがひどい七塚庁舎。高松女性センターも含めて計画的に整理していくこととし、平成25年度当初予算に設計費を計上し、工事費の財源など財政状況や諸般の事情を考慮しながら、平成26年度以降、財政負担も考慮しながら順次進めていく。

老朽化し、雨漏りがひどい七塚庁舎。高松女性センターも含めて計画的に整理していくこととし、平成25年度当初予算に設計費を計上し、工事費の財源など財政状況や諸般の事情を考慮しながら、平成26年度以降、財政負担も考慮しながら順次進めていく。

老朽化し、雨漏りがひどい七塚庁舎。高松女性センターも含めて計画的に整理していくこととし、平成25年度当初予算に設計費を計上し、工事費の財源など財政状況や諸般の事情を考慮しながら、平成26年度以降、財政負担も考慮しながら順次進めていく。

総務常任委員会

おもな質疑

宇野委員長

初期消火に必要な消火栓や防火水槽は、各区や町内会すべてに備わっているのか。

南消防課長

現在、消火栓がないのは野寺地区だけである。また、防火水槽もないため、川を堰き止め、有事の際の備えとしている。

寺内委員

野寺地区での消火栓の設置は考えられないのか。消防課長

野寺地区の中に宝達山から流れ込む川がある。水量は豊かであるが万が一に備え、40ミリの揚水設備もある。

金田委員

ケーブルテレビ50件分の引き込み工事委託料が計上されているが、現在の加入



更新された最新鋭のポンプ車

件数は何件か。また、番組がマンネリ化しているとの指摘もあるが、どのように変えていく計画なのか。山口企画情報課長

フー同、新企画を少しずつ取り入れている。人員不足で、時間的余裕がなく、また、予算も限られている中で、最大限の努力していることを理解していただきたい。

坂井委員 市民のテレビ放送と比較すると面白くないとの声も聞かれる。スタッフの努力も十分に理解できるが、ケーブルテレビの加入促進を図るためには、より一層の努力を求めたい。

寺内委員 災害派遣についてお伺す。名取市へ上下水道課1名を派遣したとの説明であるが、どのような作業内容なのか。虎合総務課長

坂井委員 128位だったと聞くが、市職員の中にもバツジをつ

宇ノ気第2分団ポンプ車 13552万4000円で更新

企画情報課長

金沢市などはカラオケ大会などを実施しており、今後これらを総合的に参考としていきたい。

寺内委員

現場の設計をしており、1ヶ月間の長期になる。石川県の市町で1年間交代としているのだが、現状は全ての市町が派遣していないのが実態である。

虎合総務課長

また、税もいろいろな証明などがあり、皆さんの窓口になつていく。

杉本委員

ゆるキャラの全国人気度の発表で、にやんたろうが

総務常任委員会

委員 長 宇野 順一

副委員長 多々見 邦次

委員 寺内 照雄

委員 金田 正信

委員 坂井 正毅

質問1 Q&A

市制10周年記念事業計画を示せ

市の魅力をアピールできる事業を開催したい



質問2 Q&A

公共施設の耐震補強を進めよ

3年を目安に検討している

市制10周年を迎えるに当たって、記念式典をはじめいろいろな予定・準備もあると思つたが、現時点ではつきりしているものがあれば、見直しを示せ。

油野市長 市民の交流と融和がすめられ、市政への愛着感と高揚を図ると共に県内外の方々に対して本市の認知度・好感度を高めてもらい、定住あるいは交流の地としてのイメージ定着を図りたい。

今年、5月から市の部長で組織した「実行委員会」また、実務的に事業を検討していく課長補佐と係長からなる「プロジェクトチーム」を立ち上げ、基本計画や実施計画の検討を進めている。

基本計画として旧3町からの歴史を振り返り、魅力や良さを再発見し、市の内外に情報発信をする事業。これまで以上の工夫をこらし、郷土への愛着などが高められる事業。夢と希望にあふれる更なる飛躍に繋がる事業。

質問1

市民が文化活動・社会活動・商工業活動に取り組み事業を推進するための環境整備。記念事業が効率的、かつ円滑に実施できる実務体制の構築。

小中学校の耐震化は、終了しているが、非構造部材の耐震化実施時期・計画について問う。

また、その他の公共施設、公園の長寿命化に関連するもの、橋梁などの耐震補強はどうなっているのか。また取り組んでいるもの、今後取り組む予定のものがあるれば計画を示せ。

質問2

市長 学校施設の非構造部材は、点検調査結果を踏まえて基本的には25年以降3年を目処に耐震化に取り組んでいく。

公園は、都市公園・公園施設長寿命化計画を策定して、老朽化した公園施設または緊急な対応を要するものから実施していく。道路橋梁については、県内他市町にさがかけて、長寿命化計画を策定し、国の交付金を活用し平成21年度より橋長16m以上の16橋を対象に、すでに14橋が改修済みであり、残りの大谷橋、箕打橋の2橋についても予算付けが完了した。



工事が待たれる大谷橋

非構造部材とは建物の柱、梁、壁などの本体以外の部材のこと。外壁・建具・ガラス・内装材・天井材・床材・屋根材・天井器具・設備機器・配管・家具・教材など。

審査の結果

全員がつけるように徹底してほしい。板坂総務部長 義務付けしていないが、協力をお願いします。

24年度一般会社補正予算

(第4・5号)

24年度ケーブルテレビ事業特別会計補正予算

(第1号)

一般職の職員給与に関する条例の改正

市税条例の改正

公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める

請願

(以上5件、全員賛成)

総務常任委員会

委員 長 宇野 順一

副委員長 多々見 邦次

委員 寺内 照雄

委員 金田 正信

委員 坂井 正毅

市民文教常任委員会

高松・宇ノ気両体育センターの耐震化・大規模改修の実設計費計上

おもな質疑

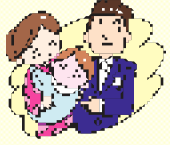
竹内委員
高松・宇ノ気両体育センター大規模改修の内容及びこの事業は特別債の使用期限に間に合うのか。
山越教育部長
高松体育センターは鉄骨屋根の耐震補強、外壁塗装工、トイレ改修工、アリーナ部分の器具落下防止など非構造部材の改修を行い、宇ノ気体育センターは、この内容にプラスして屋根の改修を行う。
25年度に全ての予算要求をしている。



大規模改修する宇ノ気体育センター

別宗委員

不妊不育治療費助成事業の一般不妊治療助成費及び特定不妊治療助成費について、お子さんが生まれた吉報を掌握しているか。



越井健康福祉課長
妊娠率は、一般不妊治療で35・7%、特定不妊治療で17・6%であり、一般治療で第1子が2人、第2子が3人、特定治療では第1子が3人誕生している。

高橋副委員長
社会福祉総務費の災害時要援護者対策システム導入で、生活困窮者に対する支援のあり方は、また、志賀町の通電停止での死亡問題などに対応できるのか。

森田市民部長
生活困窮者支援は、区長、民生委員などの協力により見守りを強化したい。
通電停止での問題は本事業のシステム導入で解決できるわけではない。事業者との連携について検討していきたい。

沖津委員
介護訓練給付費の増額要因を施設区分の説明と共に求める。
健康福祉課長
報酬単価の2%アップと施設増加に伴い、最低賃金を保証するA型施設で5人増となり、また、非雇用型で最低賃金の保証なしのB型施設で12人増となったことが主な要因である。

安達委員
地域主権一括法の施行により、2つの指定地域密着型に関する条例改正が提出されている。
これは、地域の自主性及び自立性を高めるため、自治体ごとに策定するものとなったわけであるが、これまでの国の基準とほとんど同じとはどういうことか。
市民部長
現状では国の基準で問題はなく、現行サービスを継続するものであり、今後においては状況に応じて必要があれば、その都度改正していきたい。

審査の結果

24年度一般会計補正予算（第5号）
24年度介護保険特別会計補正予算（第1号）
指定地域密着型サービス及び介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに、指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定
ひとり親家庭等医療費給付に関する条例の改正
子ども医療費給付に関する条例の改正
（以上7件、全員賛成）

市民文教常任委員会
委員長 安達 肇
副委員長 高橋 成典
委員 別宗 明敏
西田 正剛
竹内 幹雄
沖津 千万人

産業建設常任委員会

市道宇気23号線、待望の開通

おもな質疑

杉本委員
宇気23号線の開通に伴って、通学路になっていたのは旧道路だが、安全面はどのように考えているのか。
蔵谷都市建設課長
幅員2・5mの歩道を設け、交差点には、信号を設置する要望もしている。



12月25日に開通した宇気23号線

荒井委員

松くい虫防除・駆除事業で、市内に倒れそうな松の木があると聞いてはいるが、把握はしているか。
瀬戸産業振興課長
パトロールをしっかりと行い、危険な場所がないか確認し、枯死した松の木があれば逐次対応をしている。また地区と連携しながら的確に対応していく。

多々見委員
高松運動公園多目的競技場周辺整備事業による道路の拡幅整備において、歩行者にも配慮した計画はできないか。また公園の維持管理の所管はどこが行うのか。
都市建設課長
車道と歩道を区別する青色の点線によるラインを考えている。維持管理ではこ

れまで同様に、多目的競技場や体育施設は生涯学習課が所管し、その他の駐車場、広場、園路及び遊歩道は都市建設課の所管である。
荒井委員
公園内部の遊歩道が日当

たりが悪く、また階段が急こう配であるが整備できるのか。

遠田委員
「道の駅高松」の施設名称が上り線を「里山館」、下り線を「里海館」と決定した理由は、

に関する基準を定める条例の制定
準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定
市営住宅等の整備基準を定める条例の制定
水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定
地域振興施設条例の制定
都市公園条例の改正
公共下水道条例の改正
市営住宅条例の改正
水道事業の設置等に関する条例の改正
（以上12件、全員賛成）

審査の結果

24年度一般会計補正予算（第5号）
24年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）
24年度水道事業会計補正予算（第1号）
移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置
産業建設常任委員会
委員長 猪村 博晴
副委員長 金子 猛
委員 杉本 成一
荒井 三喜雄
多々見 武
遠田 順

審査の結果

24年度一般会計補正予算（第5号）
24年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）
24年度水道事業会計補正予算（第1号）
移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置
産業建設常任委員会
委員長 猪村 博晴
副委員長 金子 猛
委員 杉本 成一
荒井 三喜雄
多々見 武
遠田 順

第1回 議会報告会 開催報告

第1回 議会報告会

1. 第3回定例会(9月)報告
2. 平成23年度決算審査報告
3. 議会改革への取り組み

平成24年11月23日(金) かほく市役所2階大集會室
 平成24年11月24日(土) 七塚健康福祉センター1階ホール
 平成24年11月25日(日) 高松産業文化センター1階ホール

さまざまなご意見 ありがとうございます。

11月23日(金)から25日(日)の日程で初めての議会報告会を実施しました。初日は市役所2階大集會室にて、市民のみなさまにお集まりいただき、竹内議長のおあいさつの後、第3回定例会(9月)の報告を行い、次に平成23年度決算審査報告を杉本正一委員長が行い、最後に議会改革への取り組みを別宗議会議会運営委員長が報告しました。意見交換会では、市の財政についての質問があり、

また本会議中、暫時休憩する際の再開時間を示せないかとの要望がありました。2日目は七塚健康福祉センターで行い、意見交換会では、二元代表制の意味を問う質問や、次回の報告会の開催はいつごろかとの質問があった。またソフト事業として「いじめや社会弱者」に対しての事業を拡充するご意見をいただきました。3日目は高松産業文化センターで行い、議会の透明化を図ってほしい。との意



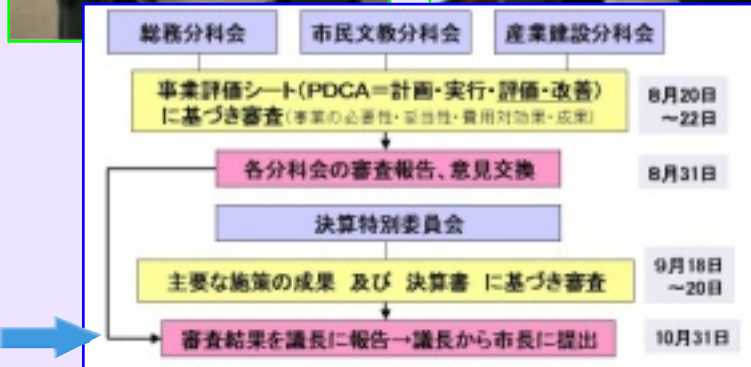
初めの報告会ではありましたが、市民の皆様からさまざまなご意見をいただきましたことに、感謝申し上げます。



25年度に合併特別期間が終了するが、26年度以降はどうするかとの質問や、今回の市民の声を今後どうやって反映させるのかといった質問がありました。



見やケーブルテレビの番組構成について提案があり、また今回の報告会での成果と効果についての質問や、決算に当たり外部監査を取り入れてはどうかとの意見がありました。



決算特別委員会による審査・行政評価
 分科会で「事業評価シート」委員会にて「主要な施策の成果」「決算書」に基づき審査
 その審査結果を踏まえ、新たに議会による行政評価として提出！
 委員長が議長に報告(写真右)
 議長は市長に提出(写真左)

決算審査結果に加え
 行政評価書を提出

敦賀市議会予算決算常任委員会 の運営を視察研修

議会改革の一環として、議員定数検討特別委員会が敦賀市議会を訪問し、予算決算常任委員会について研修した。今回の視察は現在計画中の「かほく市議会基本条例」に関連し、予算・決算の審議方法をどう改革すべきかをテーマに行なったものである。敦賀市議会は北陸3県でも議会改革が進んでおり、全国議会改革調査の上位にランクされている。予算決算常任委員会化をいち早く実現している。予算決算常任委員会は、地方自治法改正により、所属常任委員会数の制限が廃止され、委員の複数が採用されたことから、新たに予算決算常任委員会による審議を開始している。



木下予算決算常任委員長及び議会事務局職員から設置に至る経緯から運用方法について詳細な説明を受けた。かほく市議会が決算特別委員会を導入している分科会方式を敦賀市議会予算決算常任委員会でも取り入れる。予算・決算審議を常任委員会化することによる既存の常任委員会の審議内容が空洞化する恐れがないのかといった質問に対し、既存常任委員会も充分機能できることとあった。今後の議会運営・改革の参考とした。

石川中央都市圏議会連絡会 行政課題研究会(1月17日)



示された。

先生によれば全国の温泉地評価で、新幹線が通る温泉が軒並み評価を下げている。その原因は時間短縮や利便性の向上と引換えに、通俗化が進んだため、本来の姿・魅力が失われた。このように新幹線効果に過大な期待は禁物であると警鐘を鳴らされた。

金沢市近隣 4市2町で構成する中央都市圏議会の今回の研修は、14年に決定している北陸新幹線の開業を睨み、「新幹線時代に向けた観光連携について」と題した立教大学観光学部教授 安島博幸先生の講義を拝聴した。

観光地の価値や魅力とは何か? から説き起こし、その創造の方法を例題を交えてわかりやすく説明され、加えて新幹線効果の功罪について衝撃的なデータを提示した。

「議員が走る」はページの都合により、次号に掲載いたします。なお、次号は「エコプラザ」についてを予定しております。

次の定例会は2月25日からです。

議会を傍聴しませんか

本会議・常任委員会などを傍聴できます。

議会は身近なものです。どのような議論が交わされているのかぜひ傍聴においでください。本会議は30名、常任委員会・全員協議会は8名の定員で受付順となります。

本会議はケーブルテレビ「かほくチャンネル」で生中継・録画を見ることができます。



議会は門扉を開いています。何なりとご意見をお寄せください。

委員のひとり言

「議会だより」を作成するにあたり、参考とするためにこれまで発刊したものを繰り返し読み返します。そのたびに思うことは、市が合併してからのインフラ整備、企業誘致、福祉、子育て支援などの施策が着々と進捗して効果があがっていると感じます。これも行政と企業、

(金子 猛)